

# ひがしはら

平成25年12月25日  
学校だより 第8号  
杉並区立東原中学校

## “支え合い、そして切磋琢磨”

校長 渡辺 宏

北日本からは本格的な冬の到来便りが届く季節となりました。本日、第二学期の終業式を無事迎えることができました。

整然とした雰囲気の中、約200名の生徒たちに平成25年を振り返った話をすることができました。この生徒たちの話を聞く姿勢の素晴らしさは、4月から行ってきたどのような集会でも、全く差が見られません。本校の誇れる姿の一つです。

学級では担任より通知表が渡されると思いますが、その通知表1枚1枚に書かれている所見の全てに目を通し読ませてもらいましたが、どの内容も「担任の先生からとっても期待されて、励ましや叱咤激励にしっかり応えて欲しい！」という気持ちを抱かざるを得ませんでした。

さて、平成25年も残すところ約一週間となりました。4月に本校に着任してから、日常の授業、定期考査、委員会活動、運動会、校外学習、職場体験、修学旅行、合唱祭、委員会活動、部活動、学校外のスポーツや文化的活動など、あらゆる場面で生徒たちは、“切磋琢磨”し合ってきました。また、多くの人たちと“関わり合い”“支え合い”“触れ合い”ながら、自分たちに与えられたチャンスに精一杯の努力をしてきました。

一方、社会を明るくする運動、地域清掃、フラワーボランティア、落ち葉掃き、アルミ缶回収等、ボランティア活動に多くの人たちがいつも楽しそうに参加し、どの活動も参加する人の気持ちに差が見られず、真面目に誠実にしっかり取り組んでくれました。

8月4日（日）には、生徒会役員会を代表した生徒たちが、セシオン杉並で開催された『杉並区中学生生徒会サミット』にて、本校の“いじめを生まない学校づくり”について発表してくれました。生徒会役員や学校委員会を中心に、全校を挙げて「いじめとは何か」「いじめがなぜ生まれるのか」「嫌な思いをしている仲間を出さないために」を考え実行してきました。

明日から冬休みが始まりますが、毎日精一杯頑張った疲れを癒す時間をしっかり作ってください。この休みは一年の終わりと一年の始まりが経験できますので、1月から始まる新たな生活へのステップとなるよう、4月からの自分の足跡を“振り返り”、学校から離れた環境で何かを学び、一回り大きく成長できる機会としてください。そこから何かを学び取った皆さんが集い、その力を結集することで、東原中学校がさらに魅力的な学び舎になります。

三学期の始業式では生徒の皆さんと元気に新年の挨拶を交わしたいと思います。健康や安全に気を付けて、良い年をお迎えください。



## ☆早稲田大学野球部による“野球教室”が実施されました。

11月30日（土）の午後、本校グラウンドにおいて東原中学校学校支援本部主催の野球教室が実施されました。

参加した野球少年たちは、東原・中瀬・井荻・高井戸中学校の野球部員と杉並第九小学校野球部員が総勢35名。実技指導は何と、早稲田大学硬式野球部員。このイベントのために15名も来てくれました。

ポジションごとに大学で実際に行っている基礎的な練習を紹介してもらいながら、教えていただきました。大勢の大学生にキャッチボールの相手や、ノックを打っていただいたりと、日常の練習からは想像できない素晴らしい環境でした。

学生野球の頂点で活躍されている憧れの方々との距離がとても近く、小・中学生3人に1人くらいの割合で実際に指導いただける機会では、ほとんどの子どもたちが個別にアドバイスをいただいたり、話し掛けてもらったりしていました。

「ピッチングを見てもらえ、すごく嬉しかった。ボールを受けていただいた時に、とても投げやすかった。参加して良かった。」「各守備の基本を優しく教えていただき勉強になった。ボールを遠くに飛ばす技術について聞いたところ、“ご飯を沢山食べ、よく寝ること”と教えていただき、家で沢山ご飯を食べるようにします。」などの感想が寄せられました。

また、当日は野球教室の前にNPO法人“マナーキッズプロジェクト”より鈴木万亀子先生にお越しいただき、礼法講習会が実施されました。

### ※NPO法人“マナーキッズプロジェクト”

“マナーキッズプロジェクト”は、スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、〈体・徳・知〉バランスのよい子どもを育てるNPOです。

### ※鈴木万亀子先生のご紹介

小笠原流礼法常任理事 本部教授 総師範

玉川学園女子短期大学にて10年、講師を歴任。現在中学校3校の道徳講師を務められ、後輩を育成するかたわら、映画やTVドラマで所作指導。

小笠原流茶道古流、山田流箏曲、華道も教授し、企業研修指導を行っていらっしゃいます。



## ☆平成25年度“すぎなみ教育シンポジウム”が開催されました。

8月4日（日）セッション杉並で実施された『杉並区中学生生徒会サミット』を受けて、12月21日（土）午後1時30分より、前回と同じセッション杉並を会場に、すぎなみ教育シンポジウムが開催されました。

当日のプログラムは、第一部「子どもたちの取組報告」、第二部「シンポジウム」、第三部杉並中学生生徒会サミットゲストの三屋裕子さんより「大人へのメッセージ」と、充実した内容で構成されておりました。

ご来場された方々はそれぞれの立場で、“私たちがすること～いじめをなくすために～”を受けて、これからも、子ども・大人がお互いの存在を認め、理解し合いながら、「いじめの無い社会を作っていくなくてはならない。」という責任を深く心に刻んだことでしょう。



（杉並第九小学校への取組）